

第9次

[平成30年度～平成34年度]

白糠町社会教育中期計画



白糠町ふるさと絵本「ぼくはたいようのて」より

白糠町教育委員会

はじめに

国は、少子高齢化に歯止めをかけ、子ども、高齢者、障がい者など、すべての人々が、それぞれの能力を發揮でき、生きがいを感じることができる「一億総活躍社会」の実現へ向けた取組を進めています。

また、地方では、それぞれの特徴を活かした自立的で持続的な社会を創生する「地方創生」の深化を図るため、総合戦略に基づくさまざまな施策を推進しているところです。

これらはいずれも、人々が支え合いながら自分らしく活躍できる社会づくりの営みであり、「住民が共に学びあい課題を解決する地域づくり」に取り組んできた社会教育は、改めて自らの役割を認識し、今後の人口減少、少子高齢化を捉えた施策の展開に努めなければなりません。

本町では、広い視野に立ってふるさとへの愛着心やふるさとに生きる意欲を喚起するとともに、そこに生きがいをもって精進する町民意識を育む「ふるさと教育」を基軸とし、時代の変化を見据えながら、ふるさと白糠に誇りと愛着を持って活躍する姿を期待し、諸施策を進めております。

白糠町社会教育中期計画は、5年に一度、実施した施策を評価、検証し、社会の動向や住民の学習ニーズを踏まえ、次の5年間の社会教育における「ふるさと教育」の実践内容を示すものです。

第9次となる本計画は、まちづくりの基本である『第8次白糠町総合計画』、教育行政の方針を定めた『白糠町の教育づくり・白糠町の教育行政のスキーム及び実践プラン（二次改訂版）』に基づき、向こう5年間の実践目標と方策および推進事項を示し、何をすべきか実践内容が明確となるよう策定いたしました。

今後は、この新たな中期計画のもと、生涯学習社会の実現を目指し、社会教育を推進してまいりますので、共に取り組んでくださいますよう、住民の皆様のご協力をお願い申し上げます。

本計画の策定にあたり、度重なる熱心な審議をいただき、答申を賜りました白糠町社会教育委員の皆様をはじめ、アンケート調査にご協力いただいた住民の皆様にご心より敬意と感謝の意を表します。

平成 30 年 3 月

白糠町教育委員会教育長 板谷 聖 一